

元気で長生き出来る健康法!!



Dr.セラ・イオン®装着の効果

●豊富な大量のマイナスイオン・遠赤外線・

低線量放射線が常時放出されています

[その結果]

- (1) 血流・血行を促進させ体温を0.3℃前後・
体表面温度を上げる
- (2) 毛細血管の拡張&リンパ液の流れを良くし、
NK細胞を活性増加させる
- (3) 低線量放射線の照射によるホルミシス効果で
活性酸素を抑制（抗酸化作用等）する

[結論]

免疫力を高め 悪い疾患を緩和する

病気は予防から！！

監修 勝田逸郎 教授：藤田保健衛生大学（臨床血液学）
血液実証試験：藤田保健衛生大学 勝田逸郎 教授
他、ホルミシス臨床研究会資料・インターネット情報等より

(有) アマリ精工 天利義弘 TEL045-962-0333

<http://www.cera-ion.com>

一般社団法人 ホルミシス臨床研究会 賛助会員

1. 実証データ（平均値の差の検定 p 値）より効用と
考えられるまとめ・・・・・・・・・・ No.1
2. 「Dr.セラ・イオン®」血流・血行促進の実証試験結果・・・・・・・・・・ No. 2
3. 加齢と免疫能 NK 活性率の年齢による変動・・・・・・・・・・ No. 3
4. 病気は予防から始めましょう！・・・・・・・・・・ No. 4
5. 自律神経を整えて、免疫力を活性化すれば、病気になりにくく、
有病者は病気に打ち勝とうとしてくれます！・・・・・・・・・・ No. 6
6. 免疫力が下がるパターン！・・・・・・・・・・ No. 8
7. 免疫力を高めるには？・・・NK 細胞を活性化させる・・・・・・・・・・ No. 9
8. 大切な血液の流れについて・・・・・・・・・・ No. 11
9. 「Dr.セラ・イオン®」は特に冷え症の方にオススメ
血行を良くし体温が上がります！・・・・・・・・・・ No. 14
10. 「Dr.セラ・イオン®」は、豊富なマイナスイオン及び遠赤外線放出
以外にも低線量放射線が常時放出されています・・・・・・・・・・ No. 15
11. 低線量放射線によるホルミシス効果の実態・・・・・・・・・・ No. 16
12. 癌に負けない生活！癌は予防できる！・・・・・・・・・・ No. 17
13. インフルエンザに勝つ三大極意・・・・・・・・・・ No. 20
14. 足の冷え・むくみの原因・解消法！・・・・・・・・・・ No. 21
15. 高血圧の知識・・・・・・・・・・ No. 22
16. 電磁波過敏症・・・・・・・・・・ No. 23

「Dr.セラ・イオン®」

◆◆実証データ（平均値の差の検定 p 値）より効用と考えられるまとめ◆◆

1. **体温（腋下）** は体内深部の体温に近似し、**サポーター装着によって過剰な深部体温上昇がない**ことが分かります。
これは、末梢四肢等の**血流改善によるも深部体温調節能に影響しない**ことを証明しています。
2. 抹消血管の膨張により**心臓の収縮する負担を軽減**したと考えられます。
当然**血圧が下がります**。
3. **脈拍数の低下**は血管が膨張し、**血流・血行が改善**されて**心臓の負担を軽減**すからと考えられます。
4. AMY（唾液中アミラーゼ）は、**低下**しております。これは、装着に**違和感がなく、ストレスを感じない**と考えられます。
5. TKL（総カリクレイン）は**低下**しております。低下は血液中に**キニンを作り出し、血圧を下げる機序に働いた**と考えられます。
また、身体**のストレスの低下傾向に作用した**と考えられます。
6. **顔の体表面温度が低下傾**を示し、末梢血流改善による**体温上昇を蒸散によって調節作用が働いている**と考えられます（下記7に対応）。
7. **あご下首部・手甲・足甲の体表面の温度分布の上昇の拡大**が観察。
サポーター装着により、**全身の血流の改善**により、**リンパ液の流れも改善され免疫能を高める**ことが期待されます。
8. **白血球数**：好中球数・リンパ球数・単球数・好酸球数・好塩基球数は、**実数および相対数に変化はみられず**、装着によって**炎症反応など急性相に影響していない**ことが分かります。
（対象の皆さんは**正常範囲で装着前後に差はみられません**）。
9. **赤血球数・赤血球容積・ヘモグロビン濃度・血小板数**：**漸減傾向**がみられます。
これは、冷え症の対象者の**血流が良くなり、血液の鬱滞が改善された結果**と考えられます。
10. **ACTH・アドレナリン・ノルアドレナリン・ドーパミン・コルチゾール・セロトニン**：
何れも**数値を降下**している。
適度な末梢血流の改善、脈拍・血圧降下によって**身体ストレスを和らげ、交感神経・副交感神経のバランス均衡がよい方向に働いている**と考えられます。

血流・血行促進の実証試験結果報告

[実証試験者] 藤田保健衛生大学 教授 勝田逸郎 (臨床血液学)

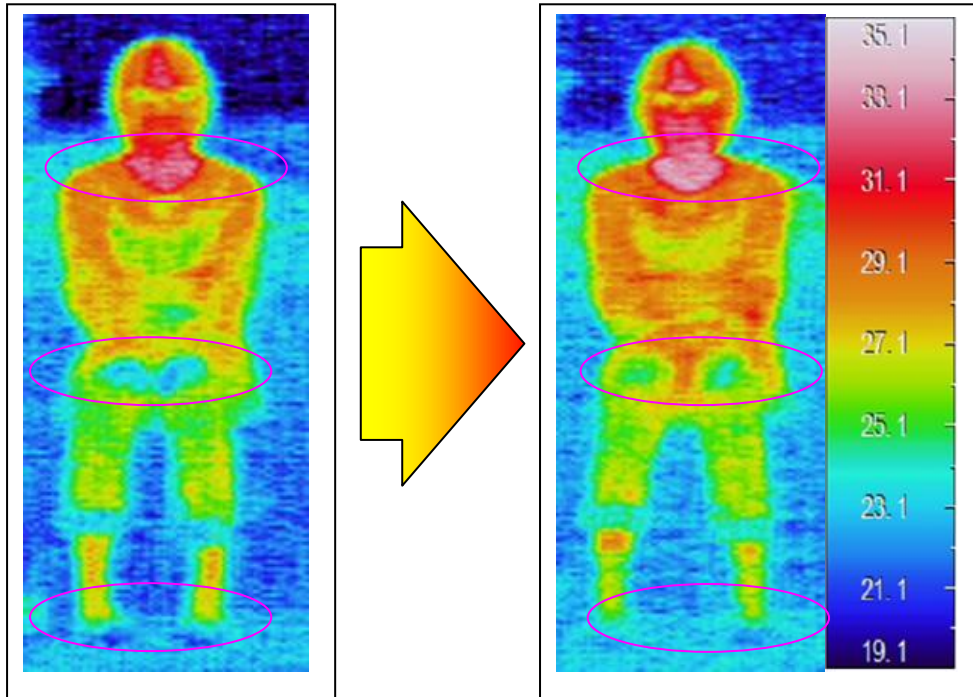
[撮影 装置] 赤外線サーモグラフィ装置 機種 TH5100 (NEC 製)

[環境 温度] 20.0℃

[モデル] 健康な女性 (20 才)

サポーター装着直前

サポーター装着 1 時間後
(両手首・両足首・腰にサポーター装着)



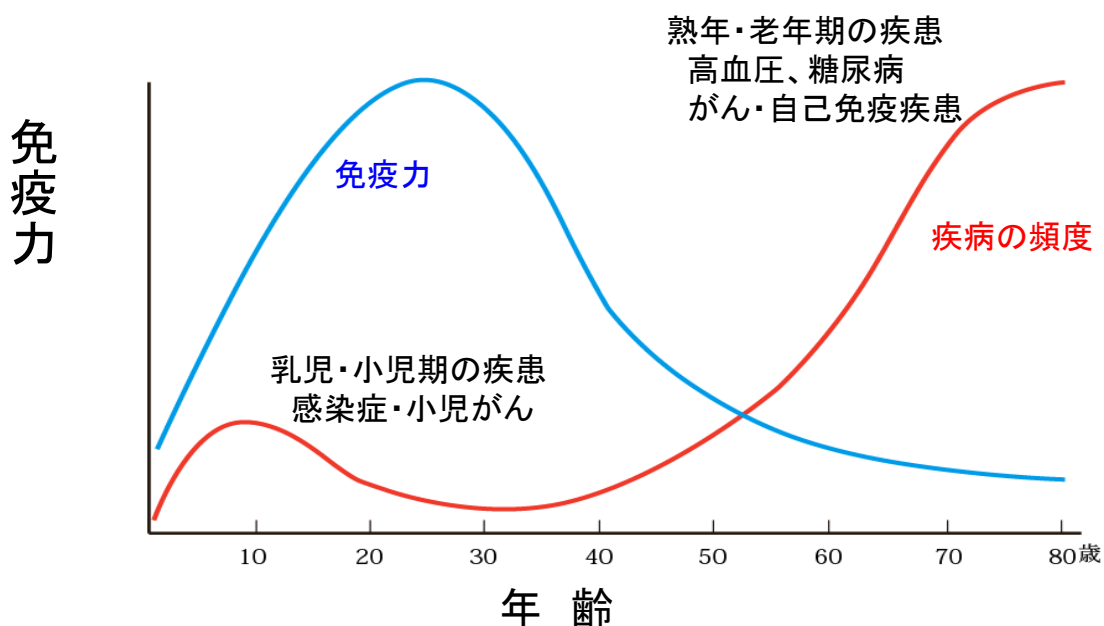
	体温	体表面温度					血圧		脈拍	AMY	TKL
		顔	首	手	膝	足甲	最高	最低			
直前	36.6	31.4	32.0	25.4	25.9	22.1	96	54	87	40	150
1 時間後	36.5	30.8	33.7	29.1	28.0	28.6	87	59	79	22	115
数値差	-0.1	-0.6	+1.7	+3.7	+2.1	+6.5	-9	+5	-8	-18	-35

[結果説明]

1. 脈拍数の低下は血管が膨張し、血流・血行が改善されて心臓の負担を軽減する。
2. 心臓の負担が小さくなれば、血圧・脈拍も降下します。
3. 体温 (腋下) は体内深部の体温に近似し、サポーター装着によって過剰な体温の上昇がないことが分かります。顔も同様です。
4. サポーター装着により、首・手甲・足甲の体表面の温度分布の上昇の拡大が観察。
5. 全身の血流の改善により、リンパ液の流れも改善され免疫能を高めることが期待。
6. AMY (唾液中アミラーゼ) は快適・不快の判別に利用し、基準範囲：19~32.7ku/L
TKL (総カリクレイン) は活性化されたカリクレインが血圧の降下に作用し、身体のスレスの減少の評価に利用、基準範囲：141~245 AMC (mmol/min/ml)
これらは、2 時間後の測定です。

*但し、効果には、症状により個人差がございます。

加齢と免疫能

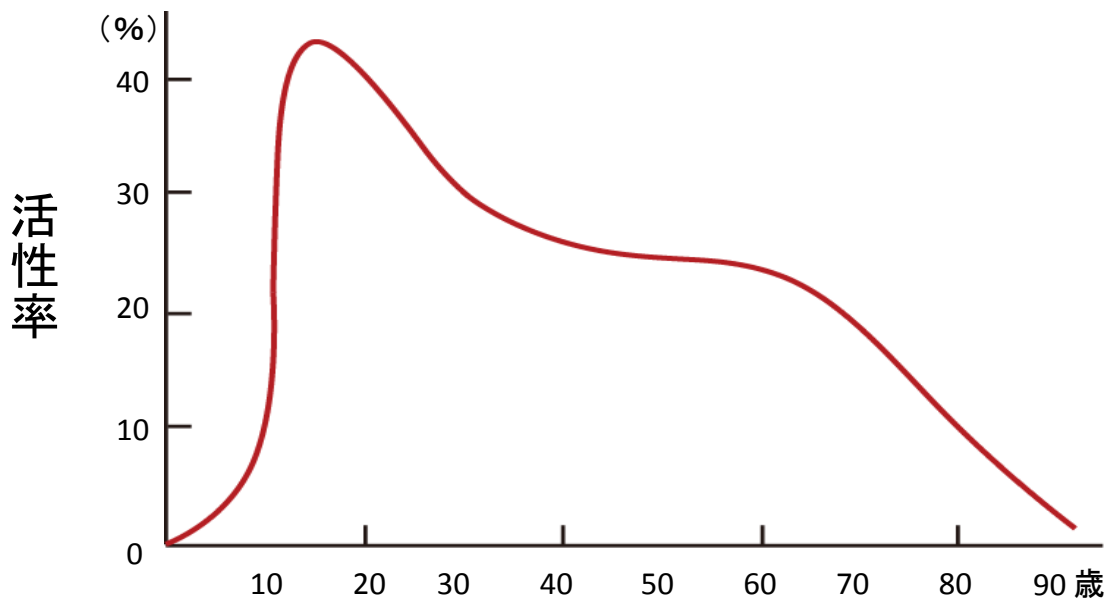


加齢とともに低下する免疫力：それによって**疾病の頻度が高くなります**。

中年期以降は、免疫力が低下しないように日頃の食事・生活習慣などに気を付けましょう。

対策：これ以降のレポートをお読みください。

NK活性率の年齢による変動



「現代化学」1984年11号「老化と免疫」多田・奥村(東京化学同人)を改変

NK細胞 (Natural Killer)：免疫システムの中でも特に重要な役割

ウイルス感染の防御・腫瘍細胞に対する攻撃。T細胞やB細胞が活動の免疫機構が働き出す前の、初期段階でウイルスを攻撃する。逆にNK細胞の働きが弱いと癌細胞は増殖してしまう。

[これ以降のページをご覧になりたい方はご連絡下さい。TEL045 \(961\) 0333](#)

E-mail:info@cera-ion.com